

季節名と冠詞

——コンピュータによる調査——

豊 田 暁

1. 序

季節名が期間を表す前置詞inやduringと共に用いられる場合、季節名の前に定冠詞がつくこともある。あれば、つかないこともある。

- (a) Thunderstorms are likely to occur in (the) summer.
- (b) The leaves turn brown in (the) early/late autumn.
- (c) Many animals hibernate during (the) winter.
- (d) Most rain falls during (the) early/late summer.

ここではコンピュータを利用して、英米のCD-ROM版百科事典からできるだけ多くの実例を引き出して、季節名の前の冠詞の有無について定量的に確認する。今回の調査で使用したデータベースは次の4種類の百科事典である。

- (1) *The Hutchinson Multimedia Encyclopedia*. (英)
- (2) *Compton's Interactive Encyclopedia*. (米)
- (3) *The Grolier Multimedia Encyclopedia*. (米)
- (4) *Microsoft Encarta Encyclopedia*. (米)

手順として、これら4種類のデータベースで、上記の(a)から(d)の4つの構造と一致する有効実例を、spring、summer、autumn、fall、winterの季節名ごとに、最高100例まで順に検索する。なお、有効実例を抽出する際、in the spring of 1999のように、季節名が限定されている場合は当然定冠詞がつくことになるので、有効データから除外する。また、in (the) spring and autumnのように、季節名が重なる場合は、最初の季節名(spring)のみを有効例とみなす。得られた有効実例総数は1,487例である。

2. in (the) spring

〈in (the) spring〉型における定冠詞の有無について、手もとの比較的新しい語法書、文法書、辞書の語法欄の記述内容を整理すると、次の2つの説に分類できる。

(1) 冠詞はつけてもつけなくてもよい。

L. G. Alexander, *Longman English Grammar* (pp.64, 150)/John Eastwood, *Oxford Guide to English Grammar* (p.208)/Quirk *et al.*, *A Comprehensive Grammar of the English Language* (p.278)/Michael Swan, *Basic English Usage* (p.43)/Collins COBUILD *English Usage* (s.v. autumn, summer, winter)/安藤・山田『研究社現代英語用法辞典』(seasonsの項)

なお、Sidney Greenbaum and Janet Whitcut, *Longman Guide to English Usage* (s. v. the)は、冠詞をつけるかつかないかは任意とした上で、“...conservative speakers would probably retain *the*”と付記している。

(2) イギリス英語では冠詞をつけない。あるいは、アメリカ英語では冠詞をつける。

G. Leech and J. Svartvik, *A Communicative Grammar of English*² (p.358)/『研究社新英和中辞典⁶』(spring, summer, autumn, winterの項) /『ジーニアス英和辞典²』(springの項) /『小学館プログレッシブ英和中辞典³』(inの項)

次に、英国および米国のCD-ROM版の辞書4種類から〈in (the) spring〉型をとるすべての有効例文 (summer, autumn, winterの例文を含む) を辞書全体から検索し、得られた例文を冠詞の有無により分類・集計すると、その結果は次の表1になる。

表1 〈in (the) spring〉型——辞書		
資料	冠詞・有	冠詞・無
LIED	25	34
OALD	13	28
AHD	5	0
RHWD	3	6

LIED: *Longman Interactive English Dictionary*

OALD: *Oxford Advanced Learner's Dictionary*

AHD: *The American Heritage Dictionary*

RHWD: *Random House Webster's Unabridged Dictionary*

表が示すように、英国の辞書LIEDおよびOALDでは、ともに無冠詞の例文が優勢である。ただし、冠詞のつく例文の数もかなり目立っている。一方、米国の辞書AHDでは5例すべての実例に冠詞がついているが、RHWDでは冠詞のつかない実例数が冠詞のつく実例数を上回っており、用法が分かれている。

以上の語法書、文法書、辞書の説明および例文などから推測すると、冠詞をつけるかつかないかは、イギリス英語・アメリカ英語とも任意であるが、英国ではどちらかと言えば無冠詞が好まれているようである。

それでは実態はどうであろうか。英米の百科事典からコンピュータで検索した〈in (the) spring〉型の有効実例合計935例 (fallの実例177例を除く) を冠詞の有無により分類・集計すると、その結果は表2になる。

表が示すように、英・米ともすべての資料で、冠詞のつかない実例数が冠詞のつく実例数を上回っている。冠詞がつく割合を英・米で比較すると、米国のCompton's、GrolierおよびEncartaは、そ

れぞれ英国の*Hutchinson*の25.3パーセントを上回っている。その3種を平均すると40.1パーセントになり、*Hutchinson*との差は約15パーセントになる。したがって、〈in (the) spring〉型では、一般的にはアメリカ英語のほうがイギリス英語より冠詞を使用する頻度が高いと言えよう。ただし、その差はアメリカ英語とイギリス英語を明確に区別するほど大きなものではない。

表2 〈in (the) spring〉型——百科事典

資 料	冠詞・有	冠詞・無
HUTCHINSON	49(25.3%)	145(74.7%)
COMPTON'S	121(46.2%)	141(53.8%)
GROLIER	79(34.3%)	151(65.7%)
ENCARTA	99(39.8%)	150(60.2%)

次に、個々の季節名と冠詞の関係を見ることにする。まず、上の表2に示した英国の*Hutchinson*の実例合計194例を季節名別に分類すると、その結果は次の表3になる。

表3 季節名による分類（英）

季節名	冠詞・有	冠詞・無
spring	18(46.2%)	21(53.8%)
summer	16(30.2%)	37(69.8%)
autumn	9(37.5%)	15(62.5%)
winter	6(7.7%)	72(92.3%)

表が示すように、*Hutchinson*ではすべての季節名で冠詞をつけない実例数が冠詞をつける実例数を上回っている。特にwinterは無冠詞で用いられる実例が非常に多く、92.3パーセントを占めている。一方、springは、他の季節名と比較して、冠詞をつける実例が多く、46.2パーセントを占め、無冠詞の53.8パーセントにかなり接近している。イギリス英語では総じて無冠詞が多いが、個々の季節名によって冠詞の有無にかなり差が認められ、一概に「イギリス英語では冠詞をつけない」とは言い切れない。以下、*Hutchinson* から〈in (the) spring〉型で、冠詞のつく実例とつかない実例を挙げる。

- (1) The Isles of Scilly are an important birdwatching centre with breeding sea birds in the summer and rare migrants in the spring and autumn.
- (2) Leaves that are shed in the autumn are termed deciduous, while evergreen leaves are termed persistent.
- (3) Breeding takes places in winter and the eggs are laid in spring.
- (4) The golden larch (*Pseudolarix amabilis*), a native of China, turns golden in autumn.

次に、上の表2で示した*Compton's*、*Grolier*および*Encarta*の実例合計741例にfallの実例177例を加えて、同様に季節名別に分類すると、その結果は表4になる。

表が示すように、米国ではspringとfallがすべての資料で、冠詞のつく実例が冠詞のつかない実例を大きく上回っており、それぞれ合計で68.1パーセントおよび76.3パーセントを占めている。逆に、summerとwinterはすべての資料で冠詞のつかない実例が冠詞のつく実例を大きく上回っている。特にwinterは、英国の場合と同様に、無冠詞で用いられる割合が合計で77.6パーセントを占め、四

季節のうち最もその割合が高い。autumnは、合計で見ると、ほぼ同じ頻度で用いられており、大きな差は認められない。このように、アメリカ英語では、個々の季節名によって冠詞の有無の頻度がイギリス英語以上にはっきり異なっており、一概に「アメリカ英語では冠詞をつける」とは言い切れない。

表4 季節名による分類 (米)

季節名	COMPTON'S		GROLIER		ENCARTA		合 計	
	有	無	有	無	有	無	有	無
spring	57	20	37	27	47	19	141 (68.1%)	66 (31.9%)
summer	25	53	18	51	20	51	63 (28.9%)	155 (71.1%)
autumn	16	12	13	20	18	23	47 (46.1%)	55 (53.9%)
fall	41	6	31	14	63	22	135 (76.3%)	42 (23.7%)
winter	23	56	11	53	14	57	48 (22.4%)	166 (77.6%)

以下、米国の各資料から収集した〈in (the) spring〉型の実例を挙げる。

- (1) In irrigated areas, rice is generally grown in the summer; other grains, in the winter.
——*Compton's*
- (2) Full to flooding in the spring from rain and melted snow, many streams dry to a trickle in the summer. ——*Grolier*
- (3) In wild plantings the seeds fall into cold water in the autumn, germinating when the water warms in the spring. ——*Encarta*
- (4) Ocean breezes cool Victoria in summer and warm it in winter. ——*Compton's*
- (5) Cinerarias bloom in spring but can be forced to flower in winter. ——*Grolier*
- (6) Castellon's climate is hot in summer and temperate in winter in the lowlands, but cold in winter in the hilly areas. ——*Encarta*

ところで、fallは一般にアメリカ英語と言われている。実際、イギリス英語の*Hutchinson*にはautumnの意味でfallを使用している実例はわずか3例しか見られず、他の24例はautumnが用いられている。一方、アメリカ英語の*Compton's*、*Grolier*および*Encarta*では、表4が示すように、〈in (the) autumn/fall〉型で、autumnが合計102例、fallが合計177例見られ、頻度の差は認められるが、米国では両者が共存していることを示している。

さて、いくつかの語法書や文法書には、アメリカ英語のfallは定冠詞を伴う、とする説が見受けられる。例えば、Michael Swan, *Practical English Usage*² (p.66)は、“The is always used in the fall (US).”と述べており、Quirk *et al.*, *A Comprehensive Grammar of English Language* (p.279)も“Fall in AmE has the article: in the fall.”と記している。また、Collins *COBUILD English Usage* (s. v. autumn)は、“In American English, autumn is referred as the fall.”と述べて、fallに定冠詞を表示している。その他の語法書や辞書では、*Chambers Concise Usage Dictionary* (s. v. fall)や*The New-*

bury House Dictionary of American English (s. v. fall)などが、いずれも冠詞を表示した例文を載せている。実際、上の表4に示した今回の調査結果でも、冠詞のつく実例が合計で135例(76.3%)、冠詞のつかない実例が42例(23.7%)で、冠詞のつく実例が確かに多く見受けられる。しかし、無冠詞の実例も*Grolier*では約3割を占め、資料3種類の平均でも2割を超えており、無視できない頻度を示している。以下、米国の各資料からfallに冠詞のつかない実例を挙げる。

- (1) The thin, pale-green leaves turn yellow in fall. —*Compton's*
- (2) It (moon) rides high in the heavens in fall and low in spring... —*ibid.*
- (3) The branches are spiny, and the leaves turn brilliant red or orange in fall. —*Grolier*
- (4) They (leaves) turn emerald green in summer and gold, pumpkin, and crimson in fall. —*ibid.*
- (5) In fall, chlorophyll wanes in the leaves of trees, and other pigments predominate. —*Encarta*
- (6) Kale is grown in the southern United States in fall... —*ibid.*

3. in (the) early/late spring

前置詞inと季節名の間に、形容詞earlyあるいはlateが入ることがある。この場合、*OALD*⁵ (s. v. autumn)をはじめ、多くの英和辞典や和英辞典の例文では、冠詞の使用は任意と表示しているが、実際はどうであろうか。英米の資料から引き出した実例合計123例(fallの22例を除く)を、冠詞の有無でそれぞれ分類・集計すると、その結果は次の表5になる。

表5 〈in (the) early/late spring〉型		
資 料	冠詞・有	冠詞・無
HUTCHINSON	5(18.5%)	22(81.5%)
COMPTON'S	5(20.8%)	19(79.2%)
GROLIER	6(16.7%)	30(83.3%)
ENCARTA	4(11.1%)	32(88.9%)

表が示すように、この型では、英・米とも冠詞をつける実例も珍しくないが、一般的には無冠詞で用いられることが多いようである。米国の3種類の資料を平均すると、無冠詞が83.8パーセントになり、英国の*Hutchinson*の場合とほぼ同じ割合を示し、英・米の差は見られない。以下、各資料からそれぞれの実例を挙げる。

- (1) The young are born in the late spring or early summer. —*Hutchinson*
- (2) In the early spring large heart-shaped leaves appear, sometimes 2 feet (0.6 meter) wide. —*Compton's*
- (3) Rainfall, concentrated in the late summer, averages 635 mm (25 in) annually. —*Grolier*
- (4) Most are perennials and produce abundant flowering heads in the late summer and fall. —*Encarta*
- (5) Occasional birds turn up in Britain, usually in late summer. —*Hutchinson*

- (6) In early winter very strong and bitterly cold winds are common. —*Compton's*
- (7) The fragrant flowers appear in early spring and are blue, pink, or white. —*Grolier*
- (8) These flies appear, often in swarms, in late summer. —*Encarta*

それでは、この型でfallがくる場合はどうであろうか。*Compton's*、*Grolier*および*Encarta*にはfallの実例が合計22例見られる。そのうち冠詞のついた実例が7例 (31.8%)、つかない実例が15例 (68.2%) 認められる。すでに見たように、in (the) fallでは冠詞をつける実例が76.3パーセントと高い割合を示しているが、in (the) early/late fallの場合は、他の季節名と同様に、冠詞をつけないことが多いようである。以下、fallで冠詞のつく実例とつかない実例を各資料から挙げる。

- (1) On the upper Sacramento they planted wheat in the late fall and harvested it in the dry summer. —*Compton's*
- (2) In the early fall such plants go into the condition known as rest, or dormancy... —*Grolier*
- (3) ...and the city receives heavy rains in the late fall and winter. —*Encarta*
- (4) In late fall or winter the cone dries up, the scales again open, and the seeds are released. —*Compton's*
- (5) In all parts of the country rainfall is seasonal, most of it coming in late fall and winter. —*Grolier*
- (6) In colder, northern regions, they (turtles) lay eggs once in late fall and again in late winter. —*Encarta*

in (the) early/late springと同じ意味でearly/late in (the) springが用いられることがある。この場合の冠詞の有無はどうであろうか。上の調査とは別に実例を収集してみたところ、英国の*Hutchinson*には冠詞のつく実例が1例、米国の*Compton's*、*Grolier*および*Encarta*では、冠詞のつく実例が6例、つかない実例が3例見られた。実例数が少ないので断定できないが、この構造ではin (the) early/late spring型とは逆に、冠詞を使用するほうが好まれているようである。それぞれの資料から冠詞のつく実例を挙げておく。

- (1) The stinking hellebore (*Helleborus foetidus*) has greenish flowers early in the spring. —*Hutchinson*
- (2) Radishes are planted very early in the spring... —*Compton's*
- (3) Japanese maples have a tendency to produce their leaves early in the spring... —*Grolier*
- (4) The plant dies early in the autumn, leaving brown patches in the lawn. —*Encarta*
- (5) Early in the summer, alewives appear in great numbers on the east coast of North America and enter the rivers to spawn. —*ibid.*
- (6) Most flower early in the spring. —*ibid.*
- (7) This initiation climaxed a series of rituals that began early in the spring with the celebration of the Lesser Mysteries at Agrae, near Athens. —*ibid.*

4. during (the) spring

前置詞duringの後に季節名がくる場合、定冠詞の省略が可能かどうかについては、手もとの英米の語法書や文法書にはほとんど説明が見当たらない。わずかに英和辞典で『小学館プログレッシブ英和中辞典³』(summerの項)が、「in、duringの後ではtheをつけることが多い」と述べており、『ジーニアス英和辞典²』(duringの項)が、「duringは通例定冠詞・指示代名詞に導かれた語句と共に用いる」と記している。

そこで、先の〈in (the) spring〉型の場合と同様に、英国および米国のCD-ROM版の辞書4種類から〈during (the) spring〉型をとるすべての有効例文を辞書全体から検索し、冠詞の有無により分類・集計すると、その結果は次の表6になる。

表6 〈during (the) spring〉型——辞書		
資 料	冠詞・有	冠詞・無
LIED	4	2
OALD	4	0
AHD	3	0
RHWD	0	0

LIEDには無冠詞の用例が2例見られるが、OALDおよびAHDでは、すべての用例に冠詞がつけられている。他の英米の辞書でも、〈during (the) spring〉型ではduringの項で冠詞をつける例文を載せるものが多い。例えば、

Chambers Essential English Dictionary/Longman Dictionary of American English²/OALD⁵/Random House Webster's Dictionary of American English

これに対して、NTC's *American English Learner's Dictionary* (s. v. during, spring, winter)は、珍しくtheをつける例文と、つけない例文の両方を登録している。

以上の辞書の解説や用例などから見ると、duringの後の季節名には、イギリス英語でもアメリカ英語でも冠詞をつける用法が一般的と推測される。それでは実態はどうであろうか。

コンピュータで英米の資料から検索した〈during (the) spring〉型の有効実例合計208例(fallの14例を除く)を冠詞の有無により分類・集計すると、その結果は次の表7になる。

表7 〈during (the) spring〉型——百科事典		
資 料	冠詞・有	冠詞・無
HUTCHINSON	24(77.4%)	7(22.6%)
COMPTON'S	30(66.7%)	15(33.3%)
GROLIER	40(54.9%)	31(45.1%)
ENCARTA	45(73.8%)	16(26.2%)

表が示すように、この型では英・米とも概して冠詞をつける実例が優勢である。ただし、英国のHutchinsonの無冠詞の割合が22.6パーセントであるのに対して、米国の資料3種類の平均は約35パーセントとなり、米国で無冠詞の頻度がかなり高い。Grolierでは無冠詞の割合が45パーセントを超えている。英米のすべての資料を平均しても30パーセントを超え、〈during (the) spring〉型で

無冠詞となる例は珍しいものではない。先に見たように、大多数の辞書にはtheをつける例文のみが登録されているが、実際の使用頻度から見れば、duringの後の冠詞の使用は任意と考えてよいであろう。なお、〈during (the) spring〉型では、〈in (the) spring〉型に見られたような、個々の季節名と冠詞の有無についての一定のパターンは見い出せない。以下、英米の資料から無冠詞の実例を挙げる。

- (1) Thunderstorms are usually caused by the intense heating of the ground surface during summer. —*Hutchinson*
- (2) It (Vladivostok) is kept open by icebreakers during winter. —*ibid.*
- (3) The cattle feed on lowland coastal pastures during summer and stored hay during winter. —*Compton's*
- (4) During spring and summer, more heat is absorbed than is lost, and the temperature of the Ocean's surface layer increases. —*ibid.*
- (5) Land areas thus become extremely hot during summer and extremely cold during winter. —*Grolier*
- (6) Andromeda...is a constellation most prominent during autumn in the Northern Hemisphere. —*ibid.*
- (7) Its annual rainfall averages 1650 mm (65 in), most of which falls during spring. —*Encarta*
- (8) During autumn the cells in the base of the petiole begin to disintegrate and die. —*ibid.*

ところで、この型でfallがくる場合、冠詞の有無はどうであろうか。*Compton's*、*Grolier*および*Encarta*にはこの実例が合計14例認められるが、そのうち冠詞をつける実例が合計13例、冠詞をつけない実例はわずか1例である。duringのあとにfallがくる場合に限っては、他の季節名がくる場合と比較して、冠詞をつける傾向が一層強くなるようである。冠詞のつく実例とつかない実例を挙げる。

- (1) During the fall the female deposits in the ground eggs that hatch the following summer. —*Compton's*
- (2) Bulbs should be planted in rich, well-drained soils during the fall for flowering the following spring. —*Grolier*
- (3) College teams generally play about 11 games during the fall. —*Encarta*
- (4) Salmon and acorns were their most important staples, supplemented by deer and elk hunted during fall and winter. —*Grolier*

5. during (the) early/late spring

duringと季節名の間に、earlyあるいはlateがくることがある。英国の資料にはこの種の実例は見られないが、米国の資料には合計4例認められ、冠詞のつく実例とつかない実例がそれぞれ2例見られる。その他、この型でfallがくる場合は、冠詞がつく実例が1例、つかない実例が3例認めら

れる。いずれの場合も冠詞の使用は任意のようであるが、実例数が少ないため、数量的にその傾向を確定することはできない。それぞれの資料から実例のみ挙げておく。

- (1) Precipitation is... lightest during the late fall and early winter. —Grolier
- (2) During the late summer, the female builds a small nest in a shrub or tree and lays four to six bluish-white eggs. —Encarta
- (3) Heaviest monthly amounts fall during late spring and early summer. —Grolier
- (4) They (Chinese water deer) mate during late fall or early winter. —Encarta

6. 結 論

以上、コンピュータを利用して収集した実例をもとに、季節名と冠詞の有無について述べた。主な調査結果を要約すると次のようになる。

- (1) 〈in (the) spring〉型では、実例数の割合で単純に比較すると、アメリカ英語のほうがイギリス英語より冠詞をつける割合が高いが、その差はアメリカ英語とイギリス英語を明確に区別するほど大きなものではない。むしろ、冠詞の有無は、英・米とも個々の季節名によることが多い。
イギリス英語では、すべての季節名で、冠詞のつかない実例数が冠詞のつく実例数を上回るが、季節名によりかなり頻度の差が見られる。冠詞がつく頻度が最も高い季節名はspringであり、最も低い季節名はwinterである。winterは、ほとんどの場合無冠詞で用いられる。
アメリカ英語では、springとfallで冠詞のつく実例数が冠詞のつかない実例数を大きく上回り、summerとwinterでは逆に冠詞のつかない実例数が冠詞のつく実例数を大きく上回る。特に、winterは、イギリス英語と同様に、無冠詞で用いられることが非常に多い。autumnは、両方がほぼ同じ頻度で使用される。
アメリカ英語でfallがくる場合、ふつう冠詞がつくと言われているが、無冠詞になる実例も珍しくない。
- (2) 〈in (the) early/late spring〉型では、冠詞のつく実例も珍しくないが、英・米とも一般に無冠詞が好まれる。同じ意味で用いられる〈early/late in (the) spring〉型では、逆に、冠詞がつくことが多い。
- (3) 〈during (the) spring〉型では、英・米とも冠詞をつける実例が優勢であるが、無冠詞の実例も珍しくない。特に、アメリカ英語では無冠詞の実例が3割を超え、かなり頻繁に見受けられる。

参考文献・資料

- Alexander, L. G. *Longman English Grammar*. Harlow, Essex: Addison Wesley Longman Limited, 1988.
- Eastwood, John. *Oxford Guide to English Grammar*. Oxford: Oxford University Press, 1994.
- Greenbaum, Sidney and Janet Whitcut. *Longman Guide to English Usage*. Harlow, Essex: Longman Group UK Limited, 1988.

- Leech, G. and J. Svartvik. *A Communicative Grammar of English*². Harlow, Essex: Longman Group Ltd., 1994.
- Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech, and J. Svartvik. *A Grammar of Contemporary English*. London: Longman, 1972.
- . *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Harlow, Essex: Longman Group UK Limited, 1985.
- Schwarz, C. M. and M. A. Seaton. *Chambers Concise Usage Dictionary*. W&R Chambers Ltd., 1986.
- Swan, Michael. *Basic English Usage*. Oxford: Oxford University Press, 1984.
- . *Practical English Usage*². Oxford: Oxford University Press, 1995.
- The American Heritage Dictionary of the English Language*³. Boston: Houghton Mifflin Company, 1996. (Microsoft Bookshelf 98. Redmond, Washington: Microsoft, 1997.)
- Chambers Essential English Dictionary*. Edinburgh: Chambers Harrap Publishers Ltd., 1995.
- Collins COBUILD English Usage*. London: HarperCollins Publishers, 1992.
- Compton's Interactive Encyclopedia*. Cambridge, MA: Compton's NewMedia Inc., 1996.
- The Grolier Multimedia Encyclopedia*. Danbury, CT: Grolier Interactive Inc., 1996.
- The Hutchinson Multimedia Encyclopedia*. Oxford: Helicon, 1997.
- Longman Dictionary of American English*². Harlow, Essex: Addison Wesley Longman Limited, 1997.
- Longman Interactive English Dictionary*. Harlow, Essex: Addison Wesley Longman Limited, 1996.
- Microsoft Encarta Encyclopedia 99*. Microsoft Corporation, 1998.
- The Newbury House Dictionary of American English*. Boston, MA: Heinle & Heinle Publishers, 1996.
- NTC's American English Learner's Dictionary*. Lincolnwood, Illinois: NTC/Contemporary Publishing Group, Inc., 1998.
- Oxford Advanced Learner's Dictionary* (CD-ROM). Oxford: Oxford University Press, 1997.
- Random House Webster's Dictionary of American English*. New York: Random House, Inc., 1997.
- Random House Webster's Unabridged Dictionary* (CD-ROM Version 2.0). New York: Random House, Inc., 1996.
- 安藤貞夫・山田政美『研究社現代英米語用法事典』東京：研究社、1995。
- 『研究社新英和中辞典⁶』東京：研究社、1994。
- 『小学館プログレッシブ英和中辞典³』東京：小学館、1998。
- 『ジーニアス英和辞典²』東京：大修館、1994。